



決算説明会

-2009年度第2四半期-

日本電産トーソク株式会社

(証券コード:7728)

<http://www.nidec-tosok.co.jp>

- 注意事項 -

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各製品の開発・生産能力、製品価格の急激な変化、顧客の購買方針変更、納入客先の生産計画、関係会社の業績、及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれるすべての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。

2009年10月27日



1. 第2四半期連結決算概要と決算のポイント

2. 半導体製造装置事業の撤退

3. 09年度連結業績見通し

4. 今後の経営戦略・各事業戦略

09年度第2四半期連結決算概要



(単位:億円)

	08年度 第2四半期	09年度 第2四半期	前年 同期比	09年度 通期見込	
				09年7月24日 上方修正 公表値	09年9月28日 上方修正 公表値
売上高	134.7	103.2	-23.4%	197.0	200.0
営業利益	11.9	5.1	-56.9%	12.5	23.7
営業利益率	8.8%	5.0%	-43.2%	6.3%	11.8%
経常利益	11.8	3.3	-71.5%	11.0	21.2
当期利益	7.1	*1 -7.7	-208.5%	6.5	3.0
1株利益(円)	37.0円	-40.0円	-208.1%	33.7円	15.5円

*1:半導体製造装置事業撤退による特別損失 約16億円含む

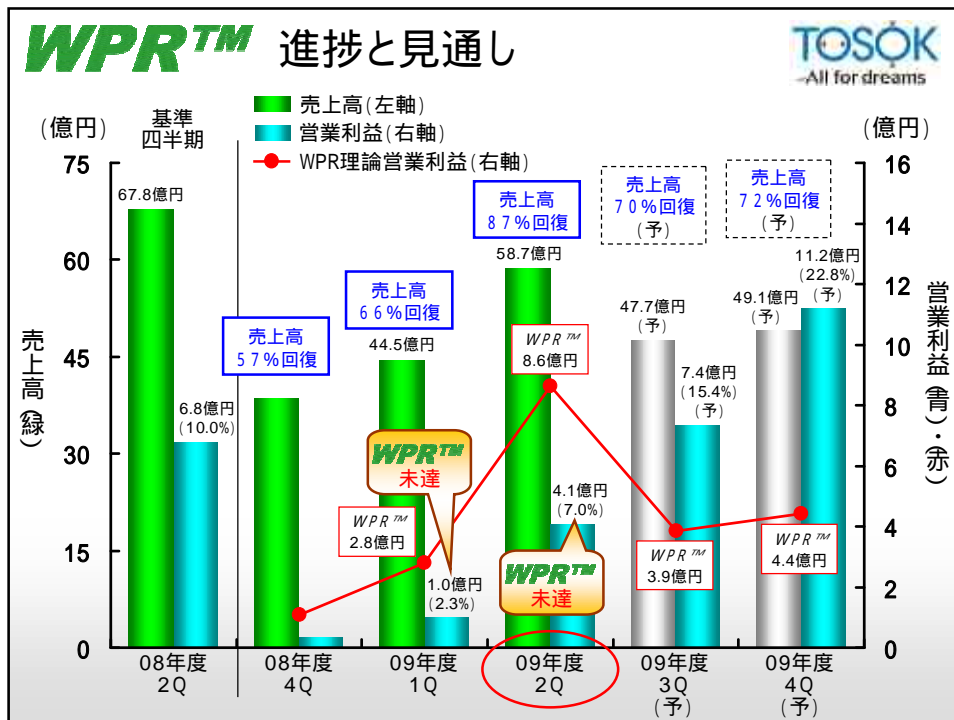
3

決算のポイント



- 景気は緩やかな回復基調にあるものの、
上期対前年同期比 **減収・減益**
売上高:103.2億円 (23.4%減) 営業利益:5.1億円 (56.9%減)
- **半導体製造装置事業からの撤退**
資源を成長事業へ集中配分
(第2四半期に特別損失約16億円を計上)
- **通期業績予想を上方修正** (9月28日発表済み)
WPR™の進捗とQ2後半からの回復基調により対前年比
売上高:200.0億円 (13.0%減) 営業利益:23.7億円 (79.5%増)
- **期末配当金 6.0円** (中間配当金 6.0円)
年間配当金 12.0円 * **当初計画を維持**
- **将来への積極的な先行投資**
海外拠点の拡充・増産投資を実施

4



- TOSOK
-All for dreams
1. 第2四半期連結決算概要と決算のポイント
 2. 半導体製造装置事業の撤退
 3. 09年度連結業績見通し
 4. 今後の経営戦略・各事業戦略
- 6

半導体製造装置事業撤退について



■ 撤退理由

- ◆ 半導体価格の下落、半導体メーカーの設備投資抑制
- ◆ 事業の採算性が永らく低迷
- ◆ 経営資源を成長事業へ重点配分し、攻めの経営へ
- ◆ **WPR™** から不採算事業の清算が重要と判断

■ 収益への影響

売上高約21.6億円(9.4%)の減少、及び第2四半期約16億円の特損

■ お客様への対応

アフターサービスは当面継続

■ 組織改編

計測機器事業をシステム機器事業として新たにスタート

7



1. 第2四半期連結決算概要と決算のポイント

2. 半導体製造装置事業の撤退

3. 09年度連結業績見通し

4. 今後の経営戦略・各事業戦略

8

09年度連結業績見通し



通期利益対前年比180%、減収増益

(単位: 億円)

	08年度	通期	上期	下期
売上高	229.8	200.0	103.2	96.8
営業利益	13.2	23.7	5.1	18.6
営業利益率	5.7%	11.9%	5.0%	19.2%
経常利益	11.8	21.2	3.3	17.9
当期利益	3.6	3.0	-7.7	10.7

9

売上・利益見通しの背景



■ 当社製品群のマーケット拡大

- ◆自動車部品事業
 - ・小型CVT用コントロールバルブの増産 (新型2機種含む)
- ◆システム機器事業
 - ・ユニット新商品(アクチュエータ・XYステージ)の拡販
 - ・画像新商品(3D寸法計測装置、3D欠陥検査装置)の投入

■ 新顧客・新規マーケットへの拡販

- ◆自動車部品事業
 - ・中国ローカルメーカーへの拡販と関係強化
- ◆システム機器事業
 - ・中国(広州、北部)・アセアン諸国等 海外での拡販

10

コスト競争力の向上・・・海外拠点の拡充



1: 日本電産東測機器装置(浙江)有限公司の設立 (NTKC)

中国現地生産化拠点の強化による徹底したコスト競争力の向上

浙江 ●

2: 日本電産トソク・秋葉ベトナム会社 (2010年春 稼働予定)

精密アルミダイカスト部品の内製化による原価低減、物流効率化による競争力向上

バンコク ●

ホーチミン ●

3: ベトナム工場に第6新棟の建設 (2010年春 稼働予定)

コントロールバルブの増産対応

* 更なる増産に備え第2生産拠点の検討を開始

4: バンコク駐在員事務所の設立 (2009年10月稼働)

自動車部品現地調達化の加速

11



1. 第2四半期連結決算概要と決算のポイント

2. 半導体製造装置事業の撤退

3. 09年度連結業績見通し

4. 今後の経営戦略・各事業戦略

12

新型CVT用コントロールバルブ



新型CVT用コントロールバルブを09年に2機種量産化



新型レガシィ「リニアトロニック」CVT用
コントロールバルブ
11,000台/月(量産時)

< ASSY一括受注 >

1. 変速レスポンスの向上
圧力制御 **流量制御**
2. 低燃費への貢献
オイル消費流量の低減、及び小型軽量化
3. **新開発ソレノイド2機種を含むオール内製化**
4. 富士重工業(株)との共同開発



2方リアソレノイドバルブ
3方リアソレノイドバルブ
ジャスコ製次世代<小型・軽量>CVT用
コントロールバルブ
42,000台/月(量産時)

< ASSY一括受注 >

1. 変速品質への貢献
内製**新開発ソレノイド4機種**採用
2. 低燃費への貢献
オイル消費流量の低減
3. **最新鋭の高効率ラインによる生産**
工程の合理化、ロボット化

システム機器事業 一戦略



計測技術と精密位置決め技術の融合による新技術、複合化製品の創出を加速

Composite Product



ユニット商品



ボールねじのユニット新商品4シリーズを発売

- 精密加工・組立技術と日本電産グループの高性能モーター技術
- 精密位置決めと低価格
- 精度向上と生産性向上
- 既存商品との互換性・汎用性を高めた量産型商品

アクチュエータ

【TZ】シリーズ



特徴: 高剛性・高精度

【TR】シリーズ



特徴: 高精度・高推力

XYステージ

【TM】シリーズ



特徴: 小型・高耐荷重

【TG】シリーズ

(カスタマイズ対応)



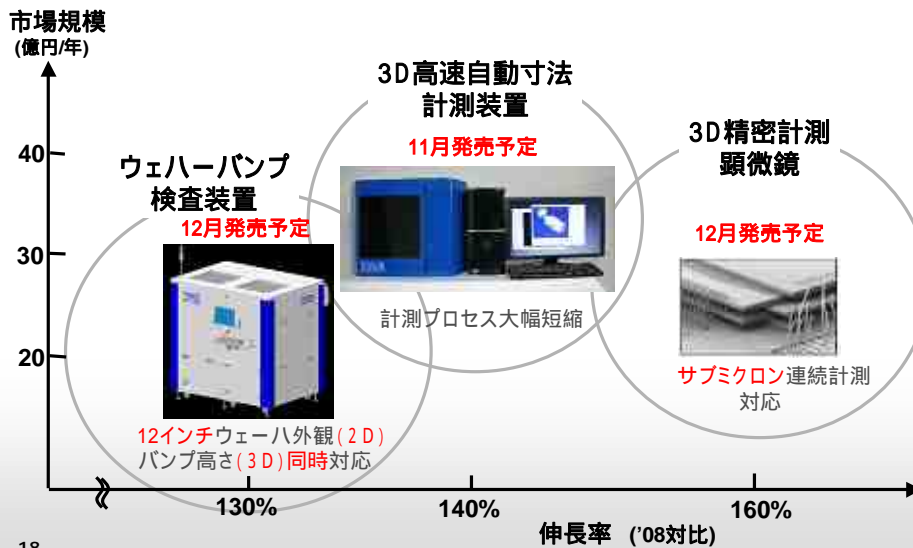
特徴: 自社製コンポーネントの複合商品

17

画像複合化商品



計測・検査・精密位置決め技術を融合し、成長市場へ商品を投入



18

■ 選択と集中

半導体製造装置事業からの撤退を < 攻め >
とし、経営資源を自動車部品事業とシステム
機器事業に重点化



1. **WPR™**完全達成
2. 新商品の投入、拡販を加速し
成長の道程を築く



お問合せ先
日本電産トーソク株式会社 経営企画部
<TEL>046-252-3102
<E-mail>information@nidec-tosok.co.jp
<http://www.nidec-tosok.co.jp>

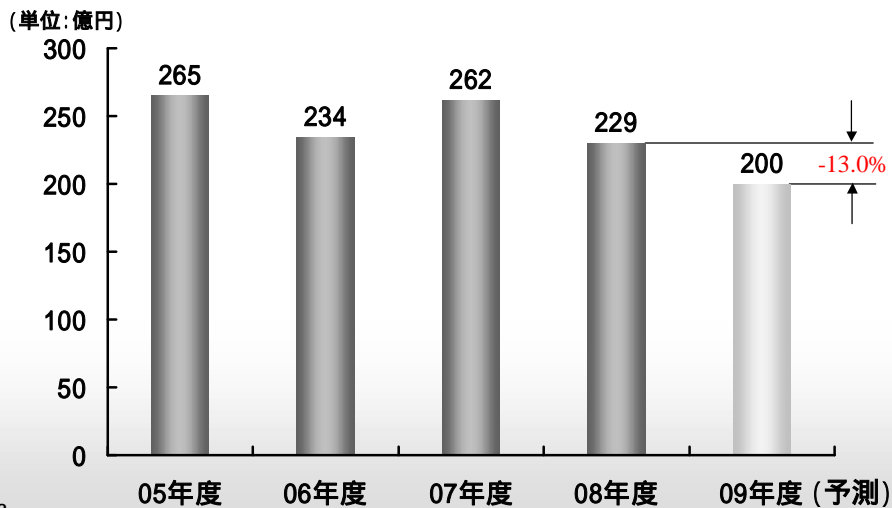
WPRは、2008年に日本電産㈱の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。
WPR™は、日本電産㈱の日本国における商標です。
WPR© 日本電産㈱永守重信 2008年

補足資料

- 売上高推移
- 売上高推移(四半期別)
- 営業利益推移
- 営業利益推移(四半期別)
- 連結キャッシュフロー推移
- 借入金推移
- 設備投資・減価償却費・研究開発費
- 品種別売上構成実績

売上高推移

景気後退により08年度から減少に転じ、
09年度は更に13.0%減少予測



売上高推移 (四半期別)



08年度Q4を底に自動車部品を中心に売上げが回復基調

自動車部品

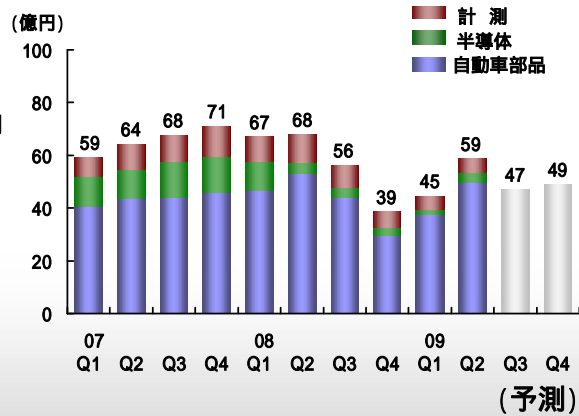
新商品の立上げ、小型車シフトによる小型車用CVTの増産

半導体製造装置

半導体業界不振、設備投資抑制が継続し低迷

計測機器

設備投資抑制の影響により減少
自動車生産、LEDなどの検査設備が減少、新商品の投入で下期売上増を図る



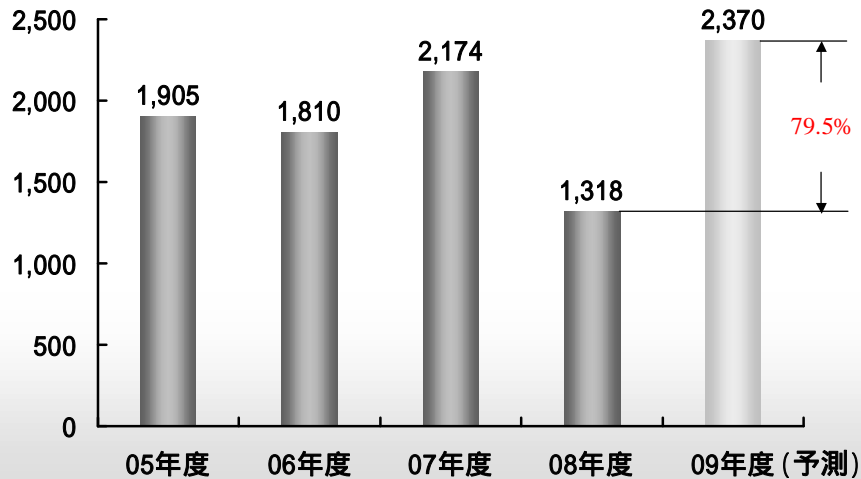
23

営業利益推移



08年度の大幅減少から **WPR™** による収益性改革により、08年度に対して09年度は79.5%増加を予測

(単位: 百万円)



24

営業利益推移 (四半期別)



Q3を底に売上高の回復により利益は増加に転じ、
WPR™効果が出始めたQ2より増加率がアップ

自動車部品

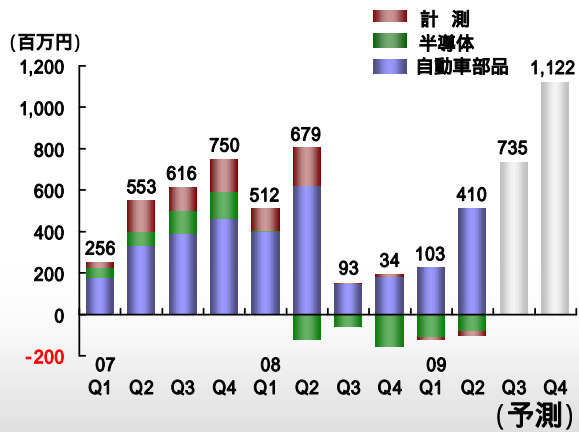
売上回復に伴い増加傾向
Q2以降は利益率改善が進み
大幅増加

半導体製造装置

売上減少で苦戦

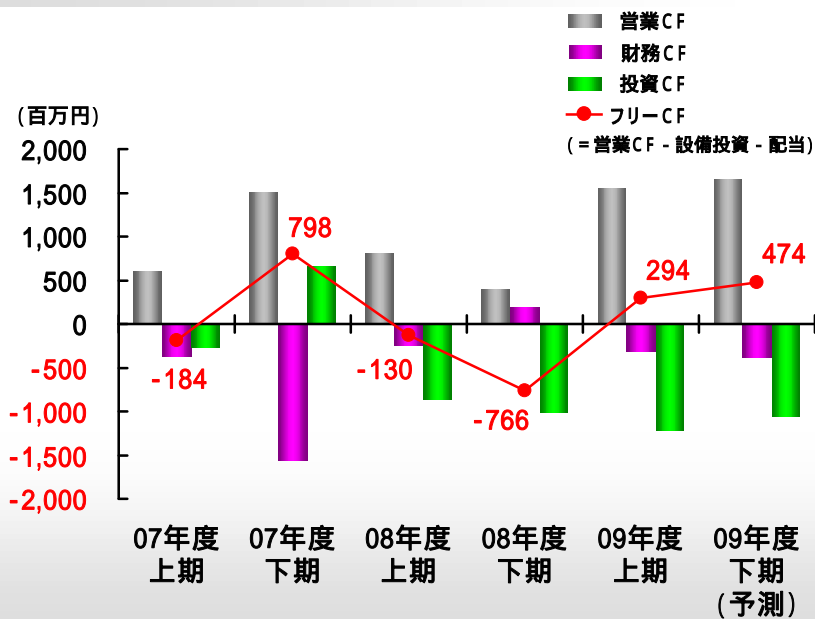
計測機器

◆ 中国生産移管による原価低減を
推進中だが、売上げ減が響き
低迷



25

連結キャッシュフロー推移

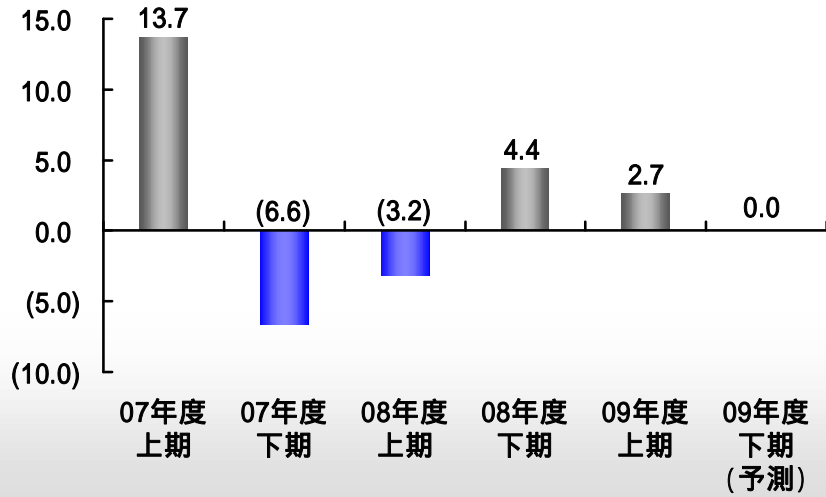


26

借入金推移



(単位: 億円)

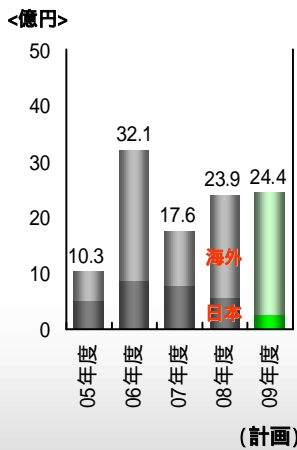


27

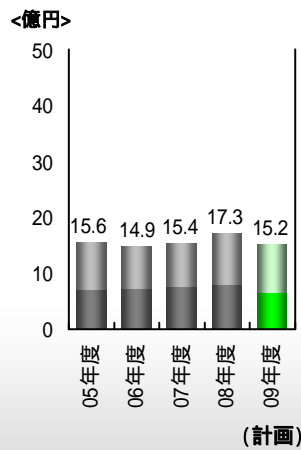
設備投資・減価償却費・研究開発費



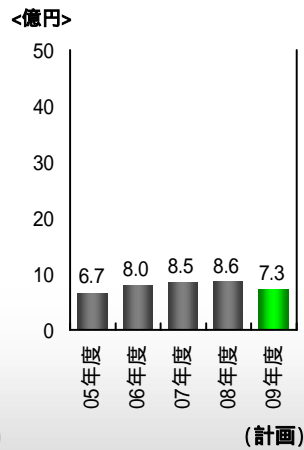
設備投資額



減価償却費



研究開発費



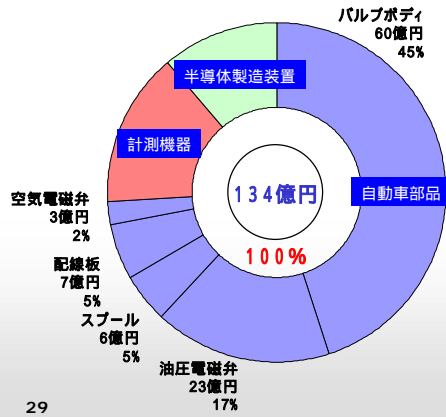
28

09年度上期 品種別売上構成実績



2008年度上期

自動車部品	計測機器	半導体製造装置
99億円	20億円	15億円
74%	15%	11%



2009年度上期

自動車部品	計測機器	半導体製造装置
87億円	10億円	6億円
86%	9%	5%

